

Contents

デジタルをつかって
ものをつくる仕事 4

Works
1 デジタルアーティスト 6

Works
2 ゲームクリエイター 10

Works
3 サウンドクリエイター 14

Works
4 ARクリエイター 18

Works
5 モバイルアプリクリエイター 20

みんなのギモン

コラム
テクノロジーって何？ 何のためにあるの？
未来のテクノロジーはどうなるの？ 22

Works
6 モーションアクター 24

Works
7 VFXクリエイター 28

Works
8 VFXプロデューサー 30

Works
9 デジタルアートクリエイター 34

ほかにもあるよこんな仕事 38

Works
10 キャラクターモデラー

はじめに

みなさんは、動画やゲーム、アプリ、ホームページなどをつかっていて、「これをつくっているのはだれだろう？」「どうやってつくっているの？」と思ったことはありませんか？

こうしたデジタルの世界を生み出しているのが「デジタルクリエイター」とよばれる人たちです。カッコいい映像やキャラクターをつくるだけでなく、みなさんがつかいやすくなるようにデザインを考え、プログラミングしたり、AIなどの最新テクノロジーを取り入れたりして、新しい体験をつくり出す仕事をしています。「デジタルクリエイター」は、テクノロジーとアイデアを組み合わせ、わたしたちの「楽しい！」「便利！」を形にするプロフェッショナルです。

この本では、ARやVFXのクリエイター、モーションアクターなど、新しい分野にも注目しながらデジタルをつかったものづくりの仕事をしょうかいします。どんな技術をつかい、どんな工夫をしているのか。読み終わったころには、いつものデジタルの世界がちょっとちがって見えるかもしれません。

パーソルホールディングス株式会社
“はたらく”を考えるワークショップ推進チーム

デジタルをつかって ものをつくる仕事



デジタルとは

デジタルとは、文字や写真、音楽などの情報を数字に変えて、コンピューターやタブレット、スマホであつかえるようにする技術です。情報を整理したり、保存したりすることが簡単に正確にできるようになります。

デジタルでできること

デジタル技術をつかうと、インターネットで知りたいことを調べたり、自分の考えを発信したりできます。メールや写真を送り合ったり、ゲームや動画を楽しんだり、勉強に役立つアプリをつかったりもできます。



広がる! デジタルの仕事

デジタルの世界では、ゲームをつくる以外にも、アイデアや技術を工夫し、さまざまな仕事が生まれています。



ひとりでじっくりつくる仕事もあれば、チームで協力して進める仕事もあり、自分に合ったやり方で取り組むことができます。

これから先、どんな新しい技術や仕事が生まれるかは、まだわかりません。でも、デジタルにふれることで、「なりたい自分」を見つけるヒントになるかもしれません。

デジタルクリエイターの仕事

デジタルをつかった仕事には、20年前には知られていなかったものもあります。「デジタルクリエイター」もその一つ。そんな新しい仕事をしょうかいます。

代表的なものは

アーティスト

VF³X クリエイター

デジタルアートクリエイター

モーションアクター

キャラクターモデラー

ゲームクリエイター

などがふくまれます。



デジタルアーティスト



イラスト、音楽、映像を自由自在に組み合わせて自分らしい新しい世界観をつくる

デジタルならではの自由な表現力

デジタルアーティストとは、パソコンやタブレットをつかって、絵や写真、音楽や映像などを独自の新しい世界観に変えてつくる人です。

デジタルの道具をつかうと、素材を自由に組み合わせたり、修正や調整をしたりしやすく、自分の個性を存分に表現できます。デジタルアーティストは、広告やテレビ番組、展示会などで活躍し、見る人を楽しませています。

「みんながクスッと笑える」世界観をつくるアーティスト

アーティストは、個性をいかした活動을します。井上涼さんは、「みんながクスッと笑える」をテーマにした、ユニークな作品をつくるアーティストです。テレビ番組の『びじゅチューン!』（NHK Eテレ）では、世界的に有名な美術作品をアニメ化して、オリジナルの音楽をつくって自ら歌い、「ちょっと遠い存在の美術をもっと身近に」というメッセージをこめています。そのほかにも、展示会や講演会、ワークショップ、ライブなどを通じて、多くの人を楽しませる活動を行っています。

おしごとデータ

年収	約300~600万円 ※経験や仕事の内容によっても変わります。
仕事時間	作品によって変わります。
必要な資格	資格はいりませんが、デジタルアプリのつかい方は覚えてください。

絵をかいて・音楽をつくって・歌って。つくることすべてが作品に!

アーティストの仕事は、自分のアイデアをカタチにすること。その過程すべてに、自分らしさがこめられています。



① 企画に沿って何をつくるかを考えて決める

仕事の担当者から依頼されたり、一緒に考えたりしながら、何をつくるのかを決める。



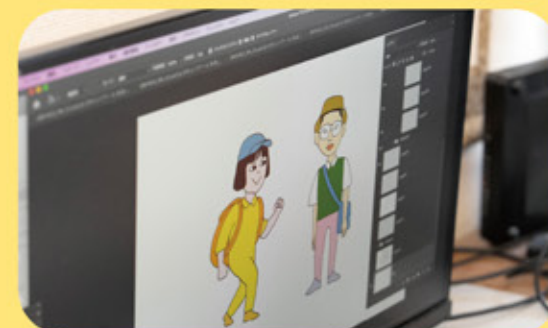
② 絵をかく

シャープペンシルと紙をつかってイラストをかく。アニメーションにするときは、動きを想像し、下絵を写しながら、1枚ずつちがう動作をかきます。これが一番大変な作業です。



③ イラストをデジタル化する

かいた絵をスキャナーで読んでパソコンに取りこみます。素材となる絵をデジタル化すれば、あとは自由に調整できます。



④ 色をつけて、アニメーションにする

絵に色をつけたり、背景やほかの絵と組み合わせます。ここでアニメーションの動きもつくりま



⑤ 音楽をつくって歌を入れ、編集する

音楽をつくるアプリで、アニメーションにつける音楽をつくりま

デジタルアーティスト 井上涼さんの仕事

いろいろなジャンルの仕事を通して、たくさんの人に楽しんでもらえる作品をつくっています。

● テレビ番組をつくる



『びじゅチューン!』は、井上さんならではのユニークな絵、奇想天外な歌詞、忘れられないメロディーで、美術を楽しくしょうかいするテレビ番組です。

© NHK・井上涼

● 広告やプロモーションに参加する

これは奈良市の観光プロモーション作品です。印象に残る楽しいアニメーションと歌で、奈良市の魅力を伝えました。

● 本をつくったり作品展やワークショップを行ったりする



マンガの連載や本の制作、展覧会やワークショップなど、多くの人が見たり体験したりできる活動を行っています。

毎日小学生新聞の連載を1冊にまとめた本。



デジタルアーティストになるには?

デジタルツールをつかいこなすだけでなく、アイデアを形にする学びも必要です

✓ アプリのつかい方や発想方法などを学校で学ぶと近道に

パソコンやタブレット、アプリ、インターネットにつながれば、どこでもできる仕事です。美術大学やデザイン系の専門学校で、アプリやツールのつかい方、発想力を学べば近道になることも。また、独学で作品をつくってSNSやサイトで発信することで仕事につなげる人もいます。

デジタルアーティストが活躍できる主な就職先

- 広告制作会社
- 映像制作会社
- 音楽制作会社
- ゲーム制作会社

など

おし 教えて!



アーティストさん

この仕事 17 年目

Q どうしてアーティストになったんですか?

わたしは、小さいころから絵をかくのが好きで、アニメも大好きな子どもでした。美術大学に進み、卒業後は広告会社で7年間、アートディレクターとして働きました。

アートディレクターの仕事は、依頼してくれた会社の希望に合ったものをつくること。でも、だんだん「自分の名前でも仕事したい」と思うようになってきて、これはもう、アーティストになるしかないのかも、って思いました。

Q 『びじゅチューン!』の作品はどうやって考えたんですか?

美術や芸術って、ちょっとハードルが高いイメージがあって、多くの人が「好き!」ってなりにくいものなのかなと。ルノワールの名画より、アニメやマンガのほうが親しみやすいです。でも、名画にもいろいろな背景があって、それを知れば好きになる人が増えると思うんです。

じゃあどうすれば、遠い存在の美術を楽しむ



『びじゅチューン!』で、画家のレオナルド・ダ・ヴィンチがかいた名画「モナ・リザ」をお局に見立てた作品。

© NHK・井上涼



井上涼さん (42歳)

んでもらえるかなと考えて、「動かない絵が動く」「おもしろい言葉で歌う」「クスッと笑える動きにする」といった親しみやすい演出をすることにしました。

Q アーティストに向いている人はどんな人?

わたしがやっているような、ひとりで考えてひとりでつくる作業が苦手な人にはちょっと向かないかもしれませんね。でも、チームで活動しているアーティストもたくさんいるので、「アーティストにはなれない」と思う必要は全然ないと思います。

Q 自分のやりたい仕事をどう見つけたらいいですか?

自分のやりたいことは、大人でもわからない人のほうが多いんじゃないでしょうか。やりたいことを見つけるには、やってみないとわからないです。いろいろなことをやってみて、「これはちがうな」「これはちょっと好きかも」と、少しずつ自分に合うようにチューニングする必要がある。そんなふうに、時間をかけるつもりでいてほしいなと思います。